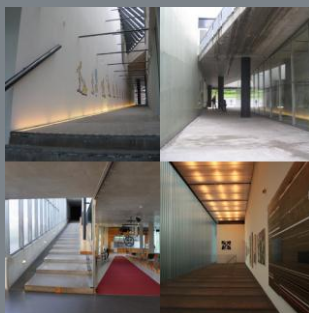


08. ロッテルダム〜クンストハル



ロッテルダムでは多くの建築物を見学することができた。特に有名なのはレム・コールハースのクンストハル。また、キューブハウスと呼ばれる特徴的な形状をした集合住宅。こちらは内部が見られるように一室が公開されている。その他、オランダ建築家協会や住宅も内部が見学できるようになっている。こういったことからロッテルダムという街がいかにか近代建築へ力を入れているかを感じられた。滞在期間中も新たにレム・コールハース、MVRDV設計の建物がそれぞれ建設中であった。クンストハルはエデュカトリウム同様レム・コールハースによる設計である。フロアごとに区切られた平面ではなく床を斜めにすることで部屋同士を繋いで構成されている。建物は高低差のある部分に配置され上と下をスロープによって繋ぎそのスロープの真下には建物を横切る道が見えてくる。こういった空間は内部にもあり、ガラス越しに見える公園・ショップ等、色々な場所が斜めに交錯している。また、斜めの床自体がホール・ギャラリーとしての役割を持つ他、ファサードとして斜めの床を見せている面もあり、外部からも内部構成が視認できる。ファサードは各面すべてが異なる表情をしており、これは公園から見える景色、道路から見える景色それぞれの場面に合わせて見えるよう考えられていると感じた。 菱田 真仁